

目標の柱	3	誰もが健やかで安心して生活できる環境づくり
基本目標(政策)	3-3	福祉と子育て環境の充実を図ります
基本計画(施策)	3-3-4	・みんなで支えあう地域福祉の充実

	課	
主管課・係	健康福祉課	社会福祉係
	健康福祉課	介護保険係
関係課・係	健康福祉課	健康増進係
	総合政策課	企画政策係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①高齢者や要支援者等が住み慣れた地域で自立した生活を送るためのサービスを受けやすくするための支援体制を整える。</p>																																																						
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①相談や支援を受けやすく、要支援者を身近な人たちが見守り支える地域福祉の充実。</p>																																																						
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>平成30年度</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 生活困窮者生活自立サポートの支援数(プラン作成件数)</td> <td>世帯</td> <td>21</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成30年度	令和元年度		令和2年度	実績値	目標値	実績値	目標値	A 生活困窮者生活自立サポートの支援数(プラン作成件数)	世帯	21	10	9	10	B						C						D						<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>町保健師や各地区の民生委員、地域包括支援センター等からの情報提供により、相談・支援に結びついているため。</td> <td>⑤ その他</td> <td>支援数が少ないのが理想的だが、「支援数の減少＝生活保護の増加」等となる可能性が高いため、目標値の設定が難しい。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ③ ほぼ目標値どおり	町保健師や各地区の民生委員、地域包括支援センター等からの情報提供により、相談・支援に結びついているため。	⑤ その他	支援数が少ないのが理想的だが、「支援数の減少＝生活保護の増加」等となる可能性が高いため、目標値の設定が難しい。	B				C				D			
			単位	平成30年度	令和元年度		令和2年度																																																
	実績値	目標値		実績値	目標値																																																		
A 生活困窮者生活自立サポートの支援数(プラン作成件数)	世帯	21	10	9	10																																																		
B																																																							
C																																																							
D																																																							
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																																				
A ③ ほぼ目標値どおり	町保健師や各地区の民生委員、地域包括支援センター等からの情報提供により、相談・支援に結びついているため。	⑤ その他	支援数が少ないのが理想的だが、「支援数の減少＝生活保護の増加」等となる可能性が高いため、目標値の設定が難しい。																																																				
B																																																							
C																																																							
D																																																							
<p>6 「目指すべき状態」に対し、これまでどのような取組を行いましたか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」の実現に向けて、取り組んだことは何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等と支援に必要な情報を共有しています。 ・財政的な支援により、法人等の安定した運営が可能となり、きめ細やかなサービスの提供等につながっています。 																																																						
<p>7 施策の「対象」の現状はどのように変化しましたか？</p>	<p>▼ 現状把握に努めましたか。把握した現状とその変化、町民や議会の声などを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者からの情報提供を通して健康状態や生活環境についての把握をしているほか、関係機関等で情報共有を行うことにより早期の対応(計画・評価・終結(継続))に結びついている。 ・早期での対応をすることにより、相談者の自立につながっている。 																																																						

【施策の振り返り】

<p>8 2の成果目標の視点から、成果が上がったことは何ですか？</p>	<p>▼ 成果があったと思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町社協及び県社協と連携しスピーディーな対応をすることにより、相談者との信頼関係等が構築され、問題の解決等につながっています。
<p>9 2の成果目標の視点から、問題点は何か？</p>	<p>▼ 問題があると思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に継続支援を要する案件では専門的な知識が必要となるケースが多いことから、専門知識の習得や人材の育成が急務であると思われます。

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>10 2の成果目標の視点から施策全体の今後の方向性は？</p>	<p>専門的な知識や経験等を有していないと対応できないような相談等も多くなってきていることから、専門家による定期的な相談会の開催についても必要になると考えられます。</p>										
<p>11 上記を踏まえ、施策の目的を実現させるためには、どのような「解決すべき問題への方策」・「達成できた事項をさらに伸ばす方策」がありますか？また具体的な対応・対策をどうしますか？</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">施策を実現するための「解決すべき問題への方策」と「達成できた事項をさらに伸ばす方策」</th> <th style="width:50%;">具体的な対応・対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁護士や司法書士、人権擁護委員等による定期的な相談会の開催</td> <td>県社協の相談支援員による定期的なサポートを行うとともに、法テラスの積極的な利活用を図る。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施策を実現するための「解決すべき問題への方策」と「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策	弁護士や司法書士、人権擁護委員等による定期的な相談会の開催	県社協の相談支援員による定期的なサポートを行うとともに、法テラスの積極的な利活用を図る。						
施策を実現するための「解決すべき問題への方策」と「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策										
弁護士や司法書士、人権擁護委員等による定期的な相談会の開催	県社協の相談支援員による定期的なサポートを行うとともに、法テラスの積極的な利活用を図る。										

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和2年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)					
			事業費(千円)					
			元年度決算額	うち一般財源	2年度予算額	うち一般財源	-	-
01	社会福祉団体育成支援事業	健康福祉課	目的	社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図る。				
			概要	社会福祉事業の企画及び実施、社会福祉に関する活動への住民参加のための援助を各関係機関と連携し実施する。				
			成果	社会福祉協議会や各地区民児協等において、積極的な活動が行われている。				
		社会福祉係	問題	社会福祉協議会への事務事業委託や業務上の連携が多岐に亘っていることから、将来を見越した採用や人材育成が求められる。				
			対策	ノウハウを持つ社会福祉協議会等と連携し情報収集、計画づくりを進める。				
			事業費	55,285	55,285	48,003	48,003	-
02	在宅介護支援事業	健康福祉課	目的	在宅介護に関する福祉サービスを総合的に提供する。				
			概要	在宅の要介護高齢者やその家族に対する相談業務。				
			成果	福祉施設入所や福祉用具の相談に応じ在宅の支援に寄与した。				
		社会福祉係	問題	多様化する相談業務に対応すべく専門知識を有する職員の配置が望まれる。				
			対策	社会福祉法人南会津会と協議していく。				
			事業費	33,031	33,031	36,637	36,637	-
03	自殺対策緊急強化事業	健康福祉課	目的	町民に対して心の病気の早期発見、早期治療を促すための普及啓発を行い、自殺予防を図る。				
			概要	各地区集会所にうつ病予防のための啓発グッズを配布。				
			成果	心の病気に対する知識の向上や相談窓口について、町民に対し啓発を図ることができた。				
		健康増進係	問題	心の病気に対して、町民の関心が低い。				
			対策	今後も継続して、訪問活動や心の病気に関する普及啓発活動を行う。				
			事業費	108	55	110	57	-
04	福祉ホール管理運営費	健康福祉課	目的	社会福祉の向上と高齢者の介護予防を図る。				
			概要	南会津町福祉ホール管理運営費。 ※指定管理施設				
			成果	社協の事務所として管理し社会福祉の拠点となっており、生きがいデイを実施するなど十分活用されている。				
		社会福祉係	問題	ボランティア登録団体は利用無料となっている。				
			対策	実費負担などを求めるなど、施設維持経費削減の取組を検討する必要がある。				
			事業費	3,830	3,830	4,470	4,470	-
05	ひきこもり者社会復帰支援事業	健康福祉課	目的	社会生活を円滑に営むことが困難な若者の社会的自立と就労意欲を促進させる。				
			概要	訪問相談を重ねながら、信頼関係を構築させる。なお、ユースプレイス(居場所)において興味を持ってもらえるような各種プログラムを提供することにより、ひきこもりの解消につなげる。				
			成果	4名(男1名、女3名)が利用登録し、ユースプレイスで実施する各種プログラムに延べ18名が参加した。まだまだ登録者は少ないものの、継続的に参加する利用者もいる。				
		社会福祉係	問題	家族等がひきこもり者と認めないほか、存在を隠そうとするため、なかなか支援に結びつかない。また、信頼関係を構築するまでに時間を要することから、直ぐに効果が見えない。				
			対策	南会津保健福祉事務所等の関係機関と情報を共有しながら、信頼関係の構築に努める。また、機会をとらえ事業内容の情報発信を行うとともに、「ひきこもり」に対する理解を深めるための取組を行う。				
			事業費	3,000	1,000	3,000	1,000	-
06	成年後見制度利用支援事業	健康福祉課	目的	判断能力が十分でない高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の権利侵害の防止を図る。				
			概要	法人後見人として実務経験のある町社協が相談機関となり、成年後見制度の普及啓発や制度の利用促進(支援)につなげる。				
			成果	相談支援、制度利用(手続き)助言・支援、普及啓発活動など成年後見センターの利用促進が図られてきている。また、以前に町長申立てを行った成年被後見人1名に対し、成年後見人等報酬扶助を行った。				
		社会福祉係	問題	後見人が必要と思われる予備軍は多いが、成年後見人等の担い手(特に専門職)が地域内に少ない。また、申請等に手間が掛かることから、親族等がいても申請につながらないケースも多い。				
			対策	成年後見センターの機能強化に努める。また、町内にいる人材(司法書士や社会福祉士など)等に協力を求めながら、成年後見人等の担い手の確保に努める。さらに、制度周知の強化を行う。				
			事業費	5,184	4,803	5,512	5,128	-
07			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
08			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
事業費(一般財源)の合計(千円)			100,438	98,004	97,732	95,295	-	-